

『変革2027』の実現に向けた組織の再編について

提案を受ける！②

車両関係

車両関係職場の再編時期

再編時期	現行	現業機関(車両センター)	現業機関(検修部門)
2022年 10月	東京支社	東京総合車両センター 尾久車両センター 松戸車両センター	
	大宮支社	大宮総合車両センター さいたま車両センター 川越車両センター 小山車両センター	
	長野支社	長野総合車両センター 松本車両センター	小海線統括センター
2023年 6月	横浜支社	鎌倉車両センター 鎌倉車両センター中原支所 国府津車両センター	
	八王子支社	三鷹車両センター 豊田車両センター	
	高崎支社	高崎車両センター ぐんま車両センター	
	千葉支社	幕張車両センター 幕張車両センター木更津派出 京葉車両センター	
	水戸支社	勝田車両センター	水郡線統括センター 水戸運輸区 土浦運輸区

主な議論

- 車両の所属について
車両の所属は水戸支社から首都圏本部所属となる。
- マザーベースについて
郡山総合車両センター(再編により東北本部所属となる)から変更する考えはなく、新入社員の基礎技術教育も変更とはならない
- 支社機能について
支社機能を首都圏本部へ集約するが、前方カメラの取り扱いや車両故障等への対応があるので支社運用車両課車両Gがゼロとはならず、水戸在勤として残す。